

ガバナー補佐就任挨拶



第1グループガバナー補佐
成田 雅敏

ご挨拶

今年度、第1グループガバナー補佐を務めさせていただくことになりました。浅学非才ですが各クラブの会員の皆様のご協力の下、地区とクラブをつなぐ役割を果たし、クラブ運営がスムーズになるよう1年間務めたいと思います。

松浦光紀ガバナーは今年度のテーマを「地域に希望を育てよう」とし、地区目標として

1. クラブ戦略計画を打ちたて、会員増強を実現する
2. ポリオデーへの参加
3. 地域に根ざした青少年奉仕を充実させる
4. オンリーワンチャレンジを見つける

そして重点項目に女性会員比率アップ、ローターアクトの推進、メンタルヘルスづくりを掲げております。

第1グループ内の地域に於いては少子高齢化、人口減少、何より新型コロナウイルス感染症によりクラブはおろか地域経済が大きなダメージを受けている状況ですが収束してきた今、ロータリークラブが以前のような楽しい例会を取り戻し、会員相互の親睦が深まり、クラブ間での連携が為されれば自ずと目標に近づくとと思います。厳しい現実の中ですが希望を持ってまず行動してみましょう。

奉仕にゴールはありません。皆さんと共に身の丈に合った奉仕活動を推進してまいりたく存じます。

グループ内すべてのロータリアンのご協力の下で楽しいロータリーライフを楽しみたいと思います。

1年間どうぞよろしく願いいたします。



第2グループガバナー補佐
宇戸 啓隆

ご挨拶

この度、ガバナー補佐として第2グループを担当致します赤平RCの宇戸啓隆です。4年前2019-2020年度にもガバナー補佐を務めさせて頂きました。2度目となります。

この4年間でコロナの影響を受け世の中は大きく変わりました。前回はIMも中止するなど様々なロータリー活動が制限せざるを得ませんでした。新型コロナウイルス感染症が感染法上の2類からインフルエンザと同じ5類に移行するのに実に3年4カ月もかかるとは思ってもありませんでした。

4年ぶりに2022-2023年度のIMが開催され、ようやくRCの活動も制限なく行えることはうれしいかぎりです。

RIテーマ「世界に希望を生み出そう」

地区テーマ「地域に希望を育てよう」

キーワードは「希望」です

松浦光紀ガバナーは四つの地区目標を掲げました。

地区目標1. 会員増強はロータリークラブの未来にむけて、持続可能なクラブの為に若い世代や女性にも会員の輪を広げていくことも重要です。

地区目標2. ポリオデーに参加しポリオ根絶に協力しましょう。募金活動はポリオ根絶のPRとなり、多くの方がポリオ根絶に参加する機会を与えます。

地区目標3. 青少年奉仕の充実は未来の希望となります。パートナーであるローターアクトクラブの新設や拡大も重要なテーマです。

地区目標4. オンリーワンチャレンジを見つけ、その地域ならではの必要とされる独自の活動を展開しましょう。

最後に我々ロータリアンが希望を生み育て、笑顔にあふれ、より楽しんでロータリー活動に邁進できますことを祈念してご挨拶と致します。



第3グループガバナー補佐
菊池 政徳

ご挨拶

今年度、R12510地区第3グループガバナー補佐を務める事になりました。皆様におかれましては3年に及ぶパンデミック、そして誰もが信じられず、耳・目を疑ってしまうロシアによるウクライナ侵攻の悲惨な光景。驚きと直後に訪れたのは落胆、悲壮感でした。この戦争が1年以上も続いており、考えるだけでとても無念で醜悪な大惨事であり今なお先の見えない状況です。

松浦ガバナーのテーマである「地域に希望を育てて、地域の集まりである世界に希望を生み出す事」をRI会長もテーマとしており、併せて奉仕をする者、奉仕を受ける者、双方のメンタルヘルス対策になると言っております。

地区目標である「会員増強」「エンドポリオは継続して」「青少年奉仕の充実」「オンリーワンチャレンジを見つけよう」では地域の実情の把握と検証が重要になります。

重点項目となる「女性会員比率10%達成」「ローターアクトの推進」「心の健康（メンタルヘルス）づくりを目指す」では、パンデミックや戦争による心の健康について重要課題としなければならないと思っています。

クラブ運営では、対人が制限された3年間に入会したメンバーのためにも、ロータリー本来の例会や事業を楽しんで出席して頂きたい気持ちでいっぱいです。

ガバナー補佐として、地区目標・各クラブの活動計画の達成など少しでもご支援できますよう邁進いたします。併せて第3グループ各クラブの皆様方とお会いできるのを楽しみにしております。



第4グループガバナー補佐
藤城 英明

就任のご挨拶とAGの役割ご紹介

この度、R12510地区第4グループガバナー補佐(AG)を仰せつかりました札幌北ロータリークラブの藤城英明（ふじきひであき）でございます。

「未来の子供たちに良い環境を残す仕事をする」ことを人生のテーマとして、燃費が良く経済性に優れた高性能な木造住宅に特化して企画・設計・施工を生業としております。

ガバナー補佐はクラブと地区とを結びつける大切な役割があり、お互いが効果的に協力すればロータリーがさらに強くなります。

その実現のために

- 1.担当クラブを定期的に訪問し、会員の声を聞き、情報やアドバイス、参考資料を紹介して、クラブを成功へと導くこと
- 2.ガバナーが特に目を向ける必要があるクラブや問題があれば、ガバナーに現状を報告すること
- 3.ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備を手伝うこと
- 4.クラブの目標の達成状況を、クラブ訪問後、オンラインツール「RCセントラル」に、クラブの評価やコメントを記録し、さらに会員増強、奉仕活動、財団への寄付などの分野でクラブが目標に向けて順調に活動しているかどうかを、定期的に「RCセントラル」にて確認することなどが求められております。

近年ではCOVID-19の影響があり、十分にその役割を果たすことができない状況でしたが、2023年5月8日からは季節性インフルエンザと同類の5類に移行され、マスクの着用義務や行動規制も解除されましたので、皆様とともに積極的に親睦と交流を図り、地域に良い影響が与えられるよう楽しく行動していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



第5グループガバナー補佐
山口 史朗

ガバナー補佐の任命をいただいて

いよいよ松浦年度が始まります。松浦ガバナーの下で、補佐として汗を流す機会をいただいたことは光栄なことです。ゴードンR I会長テーマは「世界に希望を生み出そう」です。ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出すよう呼び掛けています。そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴え、中核的価値観として「思いやり」をあげています。人々にもっと思いやりと優しさがあれば、世界は幸せで平和な場所になると強調し、平和はロータリーが特に活躍したい分野だといいます。時宜を得た言葉であり、究極の目標だと感じます。

各クラブの活性化のために補佐としてどんなお手伝いが出来るか？しっかり掘り下げていこうと思います。大切に思うのは、奉仕活動を積極的に行い、より多くの会員参加を募ること。つまりは各クラブが「楽しむ・参加する・学ぶ」機会をより多く創出し、学び合いながらロータリー理解を深めることが出来るようお手伝いをしたいと考えております。もうひとつ大切に思うのは、青少年に対する関りです。ローターアクトを仲間として迎え入れ、青少年交換や R Y L A プログラムを一層活発に機能させたいと思います。青少年に対するロータリーのあり方は、未来のロータリーの命運を握っています。来年3月30日にはパークホテルに於きまして、第4・5グループ合同のIM（インターシティ・ミーティング）の開催を予定しています。多くの会員にご参加いただき有意な学びと親睦の機会にしたいと考えております。1年間よろしく願いいたします。



第6グループガバナー補佐
佐藤 慶一

ガバナー補佐就任にあたって

このたび第6グループのガバナー補佐を拝命しました小樽ロータリークラブの佐藤です。たいへん身の引き締まる思いがしておりますが、いただいた職責を全うできるよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は3年前にクラブ会長を務めましたが、ご周知の通り当時はコロナ禍のため、ロータリー活動もかなり制約されておりました。今年度はこうしたコロナ禍による制約もほぼなくなり、様々な活動が復活できるものと期待をしていますし、たいへん楽しみにもしています。各クラブと地区とのパイプ役としての役割をしっかりと果たすとともに、ガバナー輩出グループとしても、グループ内の7クラブが一丸となって、松浦ガバナーの年度を盛り上げていければと願っています。

今年度はR I、地区ともに「希望」がキーワードとなっています。ぜひ、私自身も夢と希望を持って、各クラブの皆様とロータリーライフを楽しんでいきたいと思っております。

これから1年間、皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



第7グループガバナー補佐
前田 利和

クラブの存在意義を高めよう

この度、2023-2024年度第7グループガバナー補佐を仰せつかりました恵庭ロータリークラブの前田と申します。

この重責に身の引き締まる思いと不安でいっぱいでございますが、R1テーマ「世界に希望を生み出そう」地区目標「地域に希望を育てよう!」を念頭に置き、入会時のように、初心に帰ったつもりで取り組んで行きたいと思っています。

第7グループは、千歳、千歳セントラル、恵庭、北広島、長沼、由仁の6クラブで構成されており、各クラブ共に独自の伝統豊かな歴史があり、各地域に根ざした奉仕活動が行われております。しかし、地域独特な問題も抱えております。

この諸問題を松浦ガバナーはじめ地区の各委員長の知恵を拝借しながら、少しでも解決することが出来たらと思っています。

そして、第7グループ各クラブと手と手を取り合い、地域社会にロータリークラブのさらなる存在意義を高められるよう努力してまいります。

松浦ガバナー年度、この1年間皆様のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第8グループガバナー補佐
久保 佳幸

ガバナー補佐就任にあたって

2023-2024年度第8グループのガバナー補佐を務めさせていただく浦河ロータリークラブの久保佳幸です。

第8グループは(えりもRC・三石RC・様似RC・静内RC・浦河RC)の5クラブから構成されています。

日高地方の5クラブは日高山脈を背にして現在「日高山脈えりも固定公園」の指定を申請、協議中で来年度には受理されると思います。

北海道では珍しく牧歌的で雪が少なく10cmも降ると大騒ぎになる、3~5cm降ると除雪車が出勤します。北海道では一番暖かい地域だと思います。

今年度の2023-2024年度R1テーマ「世界に希望を生み出そう」

松浦光紀ガバナー年度

2023-2024国際ロータリー第2510地区目標「地域に希望を育てよう!」

地区目標

- 1.クラブの戦略計画を打ちたて、会員増強を実現しよう
- 2.ポリオデーに参加しよう
- 3.地域に根ざした青少年奉仕を充実させよう
- 4.オンリーワンチャレンジを見つけよう

重点目標

- 女性会員比率10%達成
- ローターアクトの推進
- 心の健康(メンタルヘルス)づくりを目指す

第8グループの課題として

ロータリークラブの活動で5クラブの内4クラブが会員20人以下であり会員減少と若年層の入会が少ない。そこで人を知る喜び、そのことにより仕事にも通じ、ただ活動するには経済も必要、そしてロータリークラブでの活動は自分の財産でもあることをアピールして会員増強・地域貢献活動を第8グループも地域に根の張った活動をします。

今年1年間よろしくごお願い申し上げます、ご挨拶と致します。



第9グループガバナー補佐
鈴木 高士

ガバナー補佐就任あいさつ

2023-2024 第2510地区 松浦光紀ガバナー年度第9グループガバナー補佐を務めさせていただきます。登別RC鈴木高士でございます。1年間よろしくお願い致します。

コロナも2類から5類に引き下げられ、行動制限が緩くなって参りました。クラブの活動も少しずつ活発になりつつあります。

第9グループ内クラブ訪問などで交流、親睦を深め連携を図り、クラブと地区を結びつける役割を担って参ります。

各クラブからの要望や提案などをガバナーに報告し、地区からは情報やアドバイス、参考資料によりクラブのお手伝い出来るよう尽力したいと思います。

2023-24年度R1テーマは『世界に希望を生み出そう』(CREATE HOPE in the WORLD)

松浦光紀ガバナー R1第2510地区目標は『地域に希望を育てよう』

具体的地区目標は

1. クラブの戦略計画を打ち立て、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根差した青少年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジを見つけよう

1年間、私自身改めてロータリーについて学びなおし、各クラブの会長・幹事・会員の皆様と楽しいロータリークラブ活動になる様ご祈念し、就任のご挨拶と致します。



第10グループガバナー補佐
宮村 拓郎

就任にあたって

本年度、第10グループのガバナー補佐を務めることになりました、七飯ロータリークラブの宮村拓郎です。

新型コロナウイルス感染症の流行により、多くのクラブで奉仕活動や周年行事の中止のみならず、例会の開催自体にも制限を受け、ロータリアンとして大変ストレスが溜まる日々が続いた3年でした。しかし、今月になり、ウイルスの感染力は変わらないものの危険度は低下し、感染症法上の5類への移行もあり、以前のロータリー活動がやっと出来る状況になってきました。

コロナ禍により、多くの社会的、経済的そして精神的なダメージを引き起こしましたが、見方を変えてみますと、今までの活動低下状態は、いわば新たな奉仕活動展開への充電期間(新たな活動への意欲の醸成と奉仕活動費の備蓄期間)と捉えることもできると思います。

松浦ガバナーは、「クラブの戦略計画を打ち立てての会員増強の実現」、「ポリオデーへの参加」、「地域に根ざした青少年奉仕の充実」、「オンリーワンチャレンジを見つけよう」の4つを地区目標として掲げております。各クラブで行われていた従来の活動の復活とともに、地区目標に関連した多くの新しい奉仕活動が企画実行されるものと期待しております。その際に、地区の協力を必要とする場合にはその連絡窓口としてご連絡いただきたく存じます。微力ながら、第10グループの各クラブに、ガバナーの考えをお伝えすると共に、各クラブの活動のお手伝い出来れば幸いと考えております。



第11グループガバナー補佐
横岡 孝一

就任挨拶

この度4月10日に2023-2024年度第11グループガバナー補佐を引き継ぐことになりました函館五稜RCの横岡孝一と申します。

何せ急なことで引き受けてしまい戸惑っていますが、皆様方のご支援とご協力を頂きながら務めさせていただきます。

松浦ガバナーの補佐として、ロータリーの基本である「親睦と奉仕」で第11グループの会長・幹事さん共々、クラブ発展のため頑張りたいと思います。



第12グループガバナー補佐
高橋 康則

ガバナー補佐挨拶

この度、12グループ（苫小牧 RC、苫小牧東 RC、白老 RC、苫小牧北 RC）のガバナー補佐に委嘱を受けました苫小牧北 RC の高橋康則です。

2023-2024 年度の RI テーマは「世界に希望を生み出そう」(CREATE HOPE in the WORLD) で松浦ガバナーの地区目標は「地域に希望を育てよう」です。松浦ガバナーのお考えを支え地域の人々と共にロータリー活動を理解していただける様に努力したいと思います。

私のロータリー歴は32年になります。一般的に32年間は長いように感じますが、気が付けば32年が過ぎたという感覚です。ロータリーの仲間は最高の財産である。今できる事業を最大限に行い継続するには各クラブの会長、幹事、会員の皆様のお力をお借りし松浦ガバナー年度を乗り切りたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。